

平成25年度 社会福祉法人 伊東市社会福祉協議会 事業報告

本年度、地域住民・関係諸団体並びに行政の理解と協力により住民参加を基軸とする事業を実施し、地域福祉の推進を図るために以下の諸事業に取り組みました。

1 法人運営事業

(1) 社会福祉協議会の組織及び財政基盤の強化

組織の充実並びに経営基盤の確立は、長年かつ喫緊の課題であり、自主財源確保のための会員増強に努めたが年々減少している。

- ・ 普通会員(社会福祉事業資金) 17,674 世帯
- ・ 賛助会員 872 篤志家・事業所
- ・ 特別賛助会員 10 会社・組合の寮保養所、42単位老人クラブ
- ・ 施設会員 12 施設(市内社会福祉施設)

(2) 理事会・評議員会の開催

① 理事会の開催

年 月 日	審 議 案 件
平成25年 5月24日 (出席者 10名)	平成24年度 事業報告並びに各会計決算の認定、就業規則の一部を改正する規則(案)、第37回伊東市社会福祉大会の開催
平成25年 8月29日 (出席者 11名)	定款の一部改正(案)、職員退職手当支給規程の一部を改正する規程(案) 平成25年度一般会計補正並びに収益事業補正予算(案)の認定、組織改革・経営強化検討委員会答申の報告、平成25年度会費実績報告、第32回ふれあい広場の実施並びにファミリーサポート事業の概要報告
平成26年 1月27日 (出席者 12名)	支部設置規程(案)、会員規程の一部を改正する規程(案)、平成25年度一般会計補正予算(案)の認定、運営資金の短期借入金、副会長の選出
平成26年 3月26日 (出席者 12名)	定款の一部改正(案)、理事及び監事選任規程の一部を改正する規程(案) 評議員選任規程の一部を改正する規程(案)、第2次地域福祉活動計画策定、応急資金貸付回収不能金の欠損処分、平成25年度一般会計補正・公益事業特別会計補正・収益事業特別会計補正の認定、平成26年度事業計画並びに一般会計収益事業・特別会計予算の認定、副会長の選出

② 評議員会の開催

年 月 日	審 議 案 件
平成25年 5月24日 (出席者 31名)	平成24年度 事業報告並びに各会計決算の認定、就業規則の一部を改正する規則(案)、第37回伊東市社会福祉大会の開催

年 月 日	審 議 案 件
平成25年 8月29日 (出席者31名)	定款の一部改正(案)、職員退職手当支給規程の一部を改正する規程(案) 平成25年度一般会計補正並びに収益事業補正予算(案)の認定、組織改革・経営強化検討委員会答申の報告、平成25年度会費実績報告、第32回ふれあい広場の実施並びにファミリーサポート事業の概要報告
平成26年 1月27日 (出席者 30名)	支部設置規程(案)、会員規程の一部を改正する規程(案)、平成25年度一般会計補正予算(案)の認定、運営資金の短期借入金、副会長の選出の報告 ※支部設置規程(案)は継続審議
平成26年 3月26日 (出席者29名)	定款の一部改正(案)、理事及び監事選任規程の一部を改正する規程(案) 評議員選任規程の一部を改正する規程(案)、第2次地域福祉活動計画策定、応急資金貸付回収不能金の欠損処分、平成25年度一般会計補正・公益事業特別会計補正・収益事業特別会計補正の認定、平成26年度事業計画並びに一般会計収益事業・特別会計予算の認定、副会長の選出

(3) 組織改革・経営強化検討委員会の開催と答申

会員制度を始め、役員構成、財政、事業に関する組織改革経営強化に関して、本会役員はじめ市内社会福祉法人代表者、介護保険事業者代表者で構成する検討委員10名により構成する検討委員会にて、本会の組織・経営の改善について検討し、答申がなされた。

①実施回数 3回(全開催10回) ②実施日 平成25年4月～平成25年6月

(4) 社会福祉法人連絡会の開催

市内社会福祉法人が抱える課題や情報交換を通して、法人間の連携・協力体制を図るための連絡会を開催した。

①開催回数 1回(平成25年7月22日(月)午後3時00分～午後4時30分)
 ②場 所 伊東市保健福祉センター 2階 講習室
 ③出席者 市内11社会福祉法人(城ヶ崎いこいの里、伊豆高原十字の園、鑑石園、農協共済中伊豆リハビリテーション、子ども未来計画、栄光会、厚生保育会、恩賜財団済生会支部静岡県済生会、春栄会、心友会、伊東市社会福祉協議会)

(5) NPO法人情報交換会の開催

市内福祉事業を営むNPO法人との情報交換を通して、NPO法人間の連携・協力体制を図ることを目的に開催した。

①開催回数 1回(平成25年9月18日(水)午後1時30分)
 ②場 所 伊東市保健福祉センター 2階 会議室
 ③出席者 市内7NPO法人(伊豆高原コミュニティーライフサポートガーデン、クープ、クララ、高齢者をささえる会、地域生活就労サポートすう、VUELO、えん)

(6) 社会福祉法人及びNPO法人合同連絡会の開催

市内福祉事業を営む社会福祉法人及びNPO法人合同の連絡会を開催した。

①開催回数 1回(平成26年2月24日(月)午後3時00分)
 ②場 所 伊東市保健福祉センター 2階 集会室

- ③出席者 市内10社会福祉法人（城ヶ崎いこいの里、伊豆高原十字の園、鑑石園、農協共済中伊豆リハビリテーション、子ども未来計画、栄光会、厚生保育会、恩賜財団済生会支部静岡県済生会、心友会、伊東市社会福祉協議会）、市内7NPO法人（伊豆高原コミュニティーライフサポートガーデン、クープ、クララ、高齢者をささえる会、地域生活就労サポートすう、VUELO、えん）

(7) 苦情解決第三者委員会の開催

サービス利用者からの苦情に適切かつ迅速に対応し、解決を図るとともにサービス利用者からの苦情解決を密室化せずに円滑な解決を図る苦情解決第三者委員会を開催し、サービス改善を図った。

- ①開催回数 2回（第1回 平成25年6月19日（水）午前9時50分～午前10時50分）
（第2回 平成26年4月14日（月）午前9時55分～午前11時05分）
- ②場 所 伊東市保健福祉センター 2階 会議室・集会室
- ③出席者 第三者委員2名・事務局8名
- ④報告件数 第1回 7件(苦情7件)、第2回 8件(苦情8件)

(8) 善意銀行の運営

市民からの貴重な寄附金品を福祉事業の財源又は施設、要援護者の支援に活用、寄附は次のとおりであった。

① 寄付金の受け入れ

寄付件数	寄 付 総 額
28件	758,611 円

② 物品の受け入れ

寄付件数	寄 付 物 品
21件	車椅子3台、納豆 1,153食、遺失物取得品186点、菓子・果物・缶詰、ヤクルト 6,995本、タオル、玄米30kg、米30kg、ペットボトル100本

(9) 静岡県健康福祉大会への参加

平成25年10月22日（火）、静岡県コンベンションアーツセンター・グランシップにおいて、静岡県知事を大会会長に健康福祉県づくりの実現に向け、社会福祉並びに健康増進活動に功績のあった個人・団体として、本市より県社協会長表彰10名（保護司 4名、施設職員6名）が表彰され、関係者を含め15名が参加した。

(10) 広 報 活 動

①社協だよりの発行

地域福祉の推進並びに本会の活動の理解を広めることを目的に年4回（9月、10月、12月、3月）“社協だよりの”を全戸配布（29,800戸）し、広報啓発を図った。

②ホームページによる情報提供

迅速により多くの情報提供を行うためにホームページを市民に活用を図った。

(11) 関係諸会議及び研修会への参加

職員の資質向上並びに人材育成のために以下の会議・研修に職員を派遣した。

- ①会長・事務局長関係会議・研修 5日 延べ 4名
(市町社協トップセミナー、県市町社協会長会議、市町社協事務局長会議等、東部事務局長会議)
- ②事務局職員関係会議・研修 18日 延べ16名
(生活福祉資金貸付事業研修会・担当者会議、ファミリーサポート事業アドバイザー、共同募金事務担当者会議、地域福祉活動計画策定研修会、生活困窮者自立支援推進会議、会計担当者実務研修、居場所づくり研修会、介護予防従事者研修会、消費者被害防止講座、社会福祉士指導講習会)
- ③介護保険事業関係職員会議・研修 36日 延べ13名
(県ヘルパー連絡協議会研修会、介護支援専門員更新研修、介護保険事業者集団指導、レクリエーション講習会、主任介護支援専門員研修会、介護予防ケアマネジメント研修、介護予防支援専門員実務研修、障害者総合支援法説明会、認定調査員新任研修等)
- ④地域包括支援センター職員会議・研修 3日 延べ2名
(精神保健研修会、かかりつけ医認知症対応向上研修会)
- ⑤その他 11日 延べ5名
(ファミリーサポート事業先進地視察、主事研修、新任民生児童委員協議会研修会、老人クラブ会長研修会)

計 73日 延べ40名

2 地域福祉推進事業

ボランティアを必要とする個人・団体・施設等の相談に応じ、ボランティアの需給調整を行うとともに地域のニーズ把握に努め、ボランティアの育成等活動の推進を図った。

(1) ボランティアニーズの需給調整

相談件数	幹			旋
	施設向け	在宅向け	その他向け	合計
12件	70人	3人	68人	141人

(2) ボランティア講習会・研修会の実施

①ボランティア講習会

ボランティア協会会員を対象にボランティア活動の基礎・活動の研修を行った。

日時 平成25年4月22日(月)13:00~15:00

場所 伊東市保健福祉センター2階 集会室

内容 地域との連携をテーマに今後のボランティア活動の広がりについて、グループワークを実施した。

参加者 ボランティア協会会員35名

②学生ボランティアグループへの支援事業

中高校生を対象に福祉体験学習及びボランティア育成事業を実施した。

活動日・活動場所	事業名	活動内容	活動人数
平成25年10月12日(土) 青少年キャンプ場	わくわくキャンプ(社協主催)	障害者当事者・家族とのキャンプ	8名
平成25年11月4日(月) 障害者支援施設 碧の園	施設体験研修	施設での障害者との交流事業	12名
平成25年12月12日(木) 平成26年 1月23日(木) 1月25日(土) 2月13日(土) 3月6日(木)	街づくり(点検活動)プロジェクト	障害者(車イス使用者)と高校生が市内公共施設等の障害者トイレの設備を調査し、報告書をまとめ、行政へプレゼンテーションを行った。	11名

(3) ボランティアビューロー(ボランティアグループ連絡会)の開催

ボランティアグループ12団体で構成するボランティア協会のボランティア相互の交流と情報交換を行った。

- ・定例会の開催 11回
- ・その他(市内2施設を見学)

(4) 災害ボランティアネットワーク事業

①災害ボランティアセンター立上げ訓練

職員を対象に災害発災後の初動及び災害ボランティアセンター立上げまでの手順についての研修を実施した。

実施日 平成26年3月11日(火)11:00~14:00

講師 静岡県防災士・災害救援ボランティア伊東 森田文明 氏

参加者 25名(事務局、ケアマネ、ヘルパー等)

②障害者当事者団体への防災に関する啓発等のための職員派遣

- ・自立支援協議会(知的障害部会) 3日間
- ・手をつなぐ育成会防災会議 1日
- ・育成会防災講演会

③災害支援活動あり方検討会

県社協が開催する災害支援活動の検討会及び東日本大震災県内避難者交流会へ職員(1名)を派遣した。

[災害支援活動あり方検討会]

実施日 7回(平成25年4月17日、6月11日、8月9日、10月15日、11月29日、平成26年1月10日、2月26日)

開催場所 静岡県総合社会福祉会館 参加者 15名(県社協4名、市町社協11名)

[避難者交流会]

実施日 平成25年11月9日(土) 開催場所 掛川市つま恋

参加者 市内避難者家族 0名 内容 野外レクリエーション

(5) ボランティア保険の加入促進

ボランティアが安心して活動に取り組めるように活動中の事故に備えて、保険の加入促進を行った。

・保険加入者数 32団体 757人、個人25人 ・ボランティア行事用保険 28件 1,601人

(6) 福祉教育資材の整備並びに貸出と情報提供

福祉教育や研修会を行う際に福祉機器、資料、講師の紹介等情報提供を行った。

・ビデオ・図書の貸出 2件 ・福祉機器の貸出 6件 ・講師の紹介 4件
・福祉の情報提供 6件 ・福祉体験学習の指導 10件

(7) 第32回ふれあい広場の開催

障がい者、子どもから高齢者まで地域で暮らす人々の交流を図り、福祉関係団体、福祉施設、ボランティアによる作品展示、模擬店等を通じて、福祉への理解と関心を深めた。

・開催日 平成25年9月29日(日) ・会場 伊東市役所 ・参加者 3,500人

(8) 第37回伊東市社会福祉大会の開催

福祉関係者や市民を対象に社会福祉の功労者への表彰状・感謝状を贈呈し、地域福祉推進における地域の絆づくりをテーマに講演会を開催し、福祉啓発を図った。

・開催日 平成25年6月29日(土) ・会場 市役所8階大会議室

・参加者 200人

・講演 「社会福祉の道は、みんなしあわせになれる道、ロマン溢れる道」

講師 社会福祉法人 伊豆高原十字の園 施設長 森 茂廣 氏

(9) 第2次伊東市地域福祉活動計画の策定

本計画は、市が策定する地域福祉計画と連携を図り、「地域をつなぐ絆の再構築」を目指して、地域の福祉課題を住民ともに福祉関係団体・機関が協働し、解決することを目的として、総合的かつ計画的に地域の福祉力を高めるために取り組む方向を明らかにする行動計画を内容に策定を行った。

①計画期間 平成26年度～平成30年度

②第2次伊東市地域福祉活動計画について意見を聴く会

・日時 平成26年3月6日(木)10:00～11:30 ・場所 市役所5階中会議室

・出席者 14名(第2次伊東市地域福祉計画講話会委員)

(10) 災害被災地社協への職員の派遣

①西伊豆町豪雨災害

平成25年7月18日(木)未明の豪雨による土砂災害より被災地社協への職員の派遣を行った。

- ・派遣日 平成25年7月21日(日)、22日(月) ・派遣職員数 1名
- ・派遣先 西伊豆町社協災害ボランティアセンター ・その他 ボランティアとして職員7名

②小山町豪雪災害

平成26年2月14日(金)未明の豪雪による雪害より被災地社協への職員の派遣を行った。

- ・派遣日 平成26年2月23日(日) ・派遣職員数 1名
- ・派遣先 小山町社協災害ボランティアセンター

3 在宅福祉推進事業

(1) ひとり暮らし高齢者ふれあい楽しみ会の実施

閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者を対象に地区別6回、参加者252人で市内景勝地(小室山)において、ウォーキングやレクリエーションを通して、介護予防及び参加者相互の交流を通して、孤独感の解消を図った。

(2) ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク事業

市内モデル地区(湯川・松原・玖須美・岡・鎌田)において、ひとり暮らし高齢者等を対象に地域での孤立しないよう月に1回以上の自宅を訪問し、安否確認を実施した。

見守り世帯数	見守り活動協力者	延べ訪問回数
5世帯	3団体・1個人	59回

(3) 総合相談及び心配ごと相談所の運営

①心配ごと相談(毎週水曜日午後1時30分～4時・伊東市保健福祉センター)

相談事項	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健	医療	人権・法律	財産	事故	子育て・福祉	教育青少年	破産賭博福祉	貯・好福祉	老人福祉	苦情	D	その他	合計
所内解決	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	7
他機関紹介	3	0	0	0	4	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	1	1	14
合計	5	0	0	0	7	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	4	0	1	1	21

②総合相談(毎週月曜日～金曜日 祝祭日を除く)

相談事項	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健	医療	人権・法律	財産	事故	子育て・福祉	教育青少年	破産賭博福祉	貯・好福祉	老人福祉	苦情	D	その他	合計
所内解決	299	22	12	16	0	0	0	0	86	0	13	0	0	27	7	0	91	14	0	67	654
他機関紹介	20	0	2	8	6	1	12	0	1	14	12	0	0	0	0	0	0	6	1	4	87
合計	319	22	14	24	6	1	12	0	87	14	25	0	0	27	7	0	91	20	1	71	741

(4) 無料法律相談

静岡県沼津弁護士会の協力により無料弁護士相談を毎月第2・第4火曜日保健福祉センターにて実施した。

実施日数 20日 (中止3日:申込状況による) 相談件数 87件

4 受託事業

(1) 保健福祉センター (老人福祉施設) の受託運営

① 利用者数 20,866名

内訳: 老人 7,727名、各種相談 1,952名、市関係 9,739名、福祉団体 1,448名

② 開館日数 243日 ③ 一日平均利用者数 85.9人

(2) 介護予防拠点施設シニアプラザ桜木・湯川・くすみの受託運営

市内3カ所の高齢者の生きがい活動や健康増進などの介護予防施設を拠点に仲間づくりを通して、生活の活性化を目的に施設の管理運営を行った。

① 延開館日数 723日 (湯川 241日、桜木 241日、くすみ 241日)

② 平均開館日数 241日

③ 延利用人員 16,785人 (湯川 3,088人、桜木 8,499人、くすみ 5,198人)

④ 平均利用人員 5,598.3人

⑤ 実施内容 手芸教室、書道教室、カラオケ教室、ウォーキング教室、童謡唱歌、絵手紙教室、介護予防教室、麻雀、太極拳

(3) 介護予防普及啓発事業

65歳以上の方を対象に日常運動習慣がなく、体力や筋力低下を防ぐために介護予防と生活機能の向上を目的に介護予防チェックリストにより参加者の状態に合せ、一次二次の体操教室を開催した。

①一次予防教室 (1教室10回)

教室数	開催場所	回数	参加者数	延べ参加者数
5教室	鎌田温泉会館(前半・後半)、岡温泉会館、湯川会館、泉会館	50回	117人	891人

②二次予防教室 (1教室12回)

教室数	開催場所	回数	参加者数	延べ参加者数
3教室	泉会館、シニアプラザ湯川、シニアプラザ桜木	36回	26人	211人

③フォローアップ教室の開催 (1教室1

教室数	開催場所	回数	参加者数	延べ参加者数
5教室	鎌田温泉会館、岡温泉会館、泉会館、シニアプラザ桜木、保健福祉センター	10回	91人	116人

(4) ファミリーサポート事業（子育て支援）の受託運営

子育ての支援を受けたい人と支援する人が会員となって、0歳児～小学低学年までの子どもを支援会員が自宅での預かり、保育園の送迎など子育てを助け合いを通して、子育て世帯の孤立を防ぎ、仕事との両立を支援を実施した。

①会員登録数 56名（依頼会員36名、支援会員18名、両方会員2名）

②支援活動実績 依頼件数 101件 支援件数 85件

内訳	依頼及び支援内容	依頼件数	支援件数
	保育園・幼稚園の登園前の預かり及び送り	3件	3件
	保育園・幼稚園の迎え及び支援会員宅での預かり	60件	52件
	子どもの習い事などの送り迎え	8件	7件
	保護者の就労の場合の支援（預かり）	12件	6件
	保護者の冠婚葬祭、学校行事参加のための預かり	1件	1件
	保護者の病気、その他急用の場合の支援	2件	2件
	家事等用事を済ませる場合の援助	14件	14件
	その他（学校行事参加時の一時あずかり）	1件	0件

③支援会員の要請

- ・開催回数 2回
- ・開催日時 第1回 支援会員講習会（平成25年9月30日（月）、10月4日（金）9:30～12:30）
第2回 支援会員講習会（平成25年12月25日（水）9:00～16:00）
- ・参加者数 第1回 延52名（第1日目28名、第2日目24名）
第2回 10名
- ・内 容 子どもの接し方・遊び方、子どもの病気とその看護、子どもの食事と栄養気になる子どもと保護者の関わり方

④会員の情報交換及び交流会

- ・情報誌「ファミサポ通信」の発行（200部）
- ・会員交流会
平成26年3月8日（土）10:00～12:00保健福祉センターにおいて、36名の参加により活動報告、会員の交流を実施した。

5 地域包括支援センターの受託運営

保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員等の8名が専門性を活かしながら、高齢者への総合的な支援として、地域の医療・保健福祉サービス関係機関・団体と協働し、地域包括ケアの推進を図り、広野分室で地域の高齢者の居場所づくりとして、サロン活動の運営を行った。

(1) 総合相談支援・権利擁護（虐待の防止）

高齢者のニーズを把握し、総合的な相談・支援を行った。また、高齢者の人権や財産を守る権利擁護を目的とした機関やサービスと連携し、高齢者の虐待防止や権利擁護に努めた。

相談方法	来 所	電話・FAX等	訪 問	その他	合 計
相談件数	252人	1,090人	1,579人	437人	3,358人

相 談 内 容	相談件数	相 談 内 容	相談件数
制度利用の申請代行	147	医療に関する相談	690
保健・福祉に関する相談	126	住宅改修に関する相談	95
介護保険に関する相談	1,391	福祉用具に関する相談	186
介護予防に関する相談	376	権利擁護成年後見制度に関する相談	14
認知症高齢者に関する相談	85	虐待に関する相談	20
在宅介護に関する相談	202	その他の相談 (家族や経済問題など)	314
施設入所に関する相談	130		
合		計	
		3,776	

(2) 共通的支援の基盤構築

地域に総合的なサービスネットワークの構築のため、関係機関・団体との調整を図った。

運 営 状 況	回数	運 営 状 況	回数
地域ケア会議	9	関係団体との会議	46
包括会議	5	相談協力員	0
包括部会（三職種）	15	研修会	8
その他(介護予防教室、サロン行事)	32		

(3) 包括的・継続的マネジメント支援

高齢者に継続的なサービスが提供されるよう地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制の構築を支援した。

- ・ケアマネジメントへの支援 173回

(4) 介護予防マネジメント

要介護認定の要支援1、2に該当する高齢者（予防給付）、特定高齢者（介護予防事業）に対して、介護予防サービス計画を作成するとともに計画に基づくサービスの提供が確保されるよう、関係機関と連絡調整を行った。

- ・新予防給付ケアプラン作成状況

作成件数 372件（直営 217件、委託 155件）

年間延作成件数 2,375件（直営 896件、委託 1,479件）

- ・特定高齢者介護予防プラン作成状況

作成件数 28件

(5) 地域包括支援センターなごみ分室及びサロン事業 “しゃべり場” の運営

地域の福祉の拠点として福祉総合相談支援事業及び高齢者はじめ地域の人々が交流を図る場所づくりを設置し、気軽に立ち寄り、介護予防の体操、ゲーム、談話を楽しみながら、地域の絆づくりを進めるサロンを実施した。

- ①開設日時 月曜日～金曜日(祝祭日及び12月29日～1月3日を除く。) 10時00分～16時00分
- ②年間開設日数 240日
- ③年間利用者 6,840人(男性1,671人 女性5,169人)※一日平均28.5人

6 公益事業 (職員派遣事業)

市が運営する中央地域包括支援センターへ専門職の職員派遣事業を実施しました。

- (1) 派遣職員数 3名 (主任介護支援専門員1名、社会福祉士2名)
- (2) 派遣業務 地域包括支援センター相談及びケアプラン作成業務
- (3) 就業場所 伊東市役所内高齢者福祉課内

7 日常生活自立支援事業 (地域福祉権利擁護事業) [県社協委託事業]

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者の中で判断能力が不十分な方の権利擁護を目的として、地域で自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等の支援を行った。

(1) 会議及び研修

- ① 専門員連絡会 (県社協主催) 及び専門員研修会への出席
・日時 平成25年 6月 4日、10月25日 ・場所 静岡県司法書士会館、静岡市民文化会館

(2) 相談件数 167件

内訳：認知症高齢者 93件、知的障がい者 7件、精神障がい者 33件、身体障がい者 34件

- (3) 訪問・調査件数 142件 (4) 契約締結件数 2件 (5) 生活支援員数 7名

8 共同募金事業

(1) 静岡県共同募金会 伊東市共同募金委員会の開催

年 月 日	審 議 案 件
平成25年 5月24日 (出席者28名)	平成24年度事業報告並びに寄付金会計・事務費会計決算、副会長の選任について
平成25年 8月29日 (出席者27名)	平成25年度共同募金(赤い羽根)実施計画について、平成25年度県共同募金会並びに伊東市支会児童公園遊び場助成申請状況
平成25年11月27日 (出席者24名)	平成25年度共同募金(赤い羽根)の結果報告、平成25年度歳末たすけあい運動の実施・配分基準並びに配分総額について
平成26年1月27日 (出席者26名)	平成25年度歳末たすけあい運動募金の実績及び配分報告、副会長の選出
平成26年3月26日 (出席者27名)	平成25年度寄付金会計・事務費会計補正予算、平成26年度事業計画並びに寄付金会計、事務費会計予算について、副会長の選出

(2) 共同募金（赤い羽根）運動

①募金目標額と実績額

区長、民生児童委員、町内会長・会計、女性連盟、ボーイスカウト、ガールスカウトの協力により各世帯や会社、商店、篤志家、団体等市民から寄せられた募金。

(単位 円)

県目標額 (広域目標額)	市目標額 (地域目標額)	区 分 別 実 績 額				合 計
		個 別	大 口	街 頭	窓 口	
3,030,000	7,000,000	4,370,025	1,755,900	183,797	328,550	6,638,272

②県共同募金会から本市共同募金会に交付される配分金額（平成25年度配分）

配 分 先	金 額	摘 要
本市社会福祉協議会	3,469,751円	平成26年度地域福祉活動事業助成金
事 務 費	305,600円	赤い羽根事務費210,600円、歳末たすけあい95,000円
合 計	3,775,351円	

(3) 歳末たすけあい運動

① 募 金 実 績 額

目 標 額	区 分 別 実 績 額			合 計
	大 口	街 頭	窓 口	
3,200,000円	1,150,000円	615,396円	1,204,844円	2,970,240円

② 配 分 内 容

配 分 対 象	配 分 金 額	摘 要
準要保護世帯	1,643,000円	準要保護97世帯253人、準要保護新入学児童12人
在 宅 障 害 者	518,000円	特別障害者手当受給者 60人、精神障害者14人
在 宅 障 害 児	147,000円	障害児福祉手当受給者 21人
交 通 遺 児	50,000円	交通遺児 5人
市 内 福 祉 施 設	20,000円	無認可 1施設
在宅ねたきり老人	553,000円	在宅ねたきり老人 79人
配 分 経 費	24,430円	通信運搬費、消耗品
平成25年度事務費	95,000円	
合 計	3,050,430円	

※募金実績額と配分総額（次年度運動準備金並びに配分諸経費を含む。）の収支差△80,190円は、赤い羽根共同募金配分金から事業費に充当します。

(4) 老人福祉活動事業

老人クラブ連合会助成事業

老人クラブ連合会の運営と事業を補助することにより高齢者の生きがいの創出並びに老人クラブ連合会活動のために助成を行った。

- ・老人クラブ連合会運営費及び事業費補助
- ・老人クラブ連合会ゲートボール大会
- ・老人クラブ連合会演芸大会
- ・老人クラブ連合会交流懇親会

(5) 障害児・者福祉活動事業

- ・心身障害児者を守る会クリスマス会への助成
- ・市内特殊学校ともだち運動会（知的障がい者）への助成

(6) 児童・青少年福祉活動事業

① 児童健全育成費助成事業

児童の健全な育成のために活動する15区の子ども会育成連絡協議会に対し、総額788,200円の助成を行った。

② 子どもの遊び場助成事業（申請なし）

(7) 福祉団体育成・生活支援事業（低所得者世帯援護事業）

① 福祉団体助成事業

地域福祉活動のする関係諸団体・ボランティアグループに対し、助成を行った。

- ・配分対象 12団体 配分額 1,017,000円

② 災害見舞金支給事業

風水害、火災等により被災された世帯に対して見舞金を支給した。

- ・支給件数 9件
- ・支給総額 110,000円

[全焼(20,000円) 4件、半焼(10,000円) 1件、一部焼(5,000円) 4件]

③緊急食糧配布事業

経済的困窮者に対し、2日分の食糧配布を行った。

- ・利用者 34人
- ・延利用回数 65回

9 貸付金事業

(1) 応急貸付資金貸付事業

低所得者世帯に対し、無利子で生活費（原則3万円）を貸し付け、経済的支援を行った。

本年度貸付件数・貸付金額	回収金額		未回収金額	欠損処分額
	回数	金額		
81件 2,258,000円	現年度分	79回 1,472,000円	786,000円	0円
	過年度分	39回 292,000円	6,699,420円	778,000円
	計	118回 1,764,000円	7,485,420円	778,000円

※償還回数は、1件の貸付に対し、最長5カ月以内での償還であることから償還回数が上回る。

(2) 高額療養費資金貸付事業

医療費の支払いに困窮する国保の被保険者に対し、無利子で資金を貸し付け生活の安定を支援した。

本年度貸付件数・貸付金額	回収金額			未回収金額	欠損処分額
	現年度分	33回	5,306,000円		
34件 5,574,000円	過年度分	5回	579,000円	268,000円	0円
	計	38回	5,885,000円	475,625円	0円

(3) 生活福祉資金貸付事業

[県社協委託]

本貸付制度は県社会福祉協議会が実施主体として、市社会福祉協議会が窓口となって、離職者、低所得者世帯や高齢者世帯、障がい者世帯に対し、それぞれの世帯に応じた資金の貸付を行った。

種 別		件数	貸付金額	貸付対象者	貸付の内容
総合支援 資金	生活支援費	0件	0円	低所得者世帯 (離職者)	生活再建のための生活費
	住宅入居費	0件	0円		住宅賃貸契約の費用
	一時生活再建費	0件	0円		公共料金、転居費用等
福祉資金	福祉費	4件	853,000円	低所得者世帯 障害者世帯 高齢者世帯	生業を営む資金、技能取得 介護サービス費用、転居費 用、住宅改修費用等
	緊急小口資金	4件	330,000円		一時的な生活費
教育支援 資金	教育支援費	0件	0円	低所得者世帯	就学に必要な経費
	就学支度費	0件	0円		入学に際し、必要な経費
不動産担保 型生活資金	不動産担保型 生活資金	0件	0円	高齢者世帯	不動産を担保に老後の生活 資金の貸付
計		8件	1,183,000円		

※貸付利率：連帯保証人がある場合及び緊急小口、教育資金は無利子、連帯保証人がない場合は
 年利1.5%。不動産担保については年利3%又は4/1現在長期プライムレート金利。

(4) 臨時特例つなぎ資金

公的給付制度又は公的貸付制度の開始までの生活に困窮する離職者で住居を喪失しているこ
 とを条件に無利子で一時的な生活費（10万円以内）の貸付を行い、離職者の支援を行った。

件数	貸付金額	対象者	貸付の内容
2件	140,000円	住居損失の離職者	公的給付金又は公的貸付金の交付を受けるまでの生活費

10 指定訪問介護事業

要支援・要介護者へ身体介護・生活援助のホームヘルプサービス提供を行った。

- ① 配置職員数 常勤3名・非常勤12名（非常勤1名・登録11名）
- ② 年間延利用者数 669人（前年比 138人増）
- ③ 1月あたり利用者数 55.8人（前年比 11.5人増）
- ④ 年間サービス提 7,932時間（前年比 2018.5時間増）

内訳	区 分	身体介護	身体生活	生活援助	予防介護
時間数		1,468時間	2,779時間	1,932.5時間	1,752.5時間
構成比		18.5%	35.0%	24.4%	22.1%

⑤1か月あたりサービス提供時間数 661時間数 (前年比 168.2時間増)

1.1 居宅介護支援事業

介護保険制度における要介護認定者に対し、個々の解決すべき課題とその心身の状態に応じて、サービス計画の作成、サービス事業との連絡調整等、適切にサービスが提供されるよう総合的な支援を行った。

①配置職員数 常勤4名 (常勤4名)

②年間延作成数 1,365プラン (前年比179プラン増)

内訳	要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
作成数		527	403	198	124	113
構成比		38.6%	29.5%	14.5%	9.1%	8.3%

③1か月あたり作成数 113.8人 (前年比15人増)

④介護予防プランの受託 (地域包括支援センターからの受託事業)

介護保険における予防給付の対象となる要支援者に対し、介護予防サービス計画を作成し、サービスの需給調整を行った。

介護予防プラン年間延作成数 273プラン (前年比124プラン増)

1.2 指定訪問入浴事業

(1) 指定訪問入浴事業の運営

要介護者の自宅において、移動入浴車 (3台) による入浴サービスの提供を行った。

①配置職員数 常勤5名 (看護師2名、介助員3名)・非常勤7名 (看護師3名、介助員4名)

②年間延利用者数 372人 (前年比7人減)

③1か月あたり利用者数 31人 (前年比0.6人減)

④年間実施回数 1,913回 (前年比125回増)

⑤1か月あたり実施回数 159回 (前年比10回増)

(2) 障害者訪問入浴事業の受託

行政の委託により在宅重度障害者への移動入浴サービスを実施した。

年間派遣 実人員	年間派遣 延世帯数	年間延 実施回数	1ヶ月平均 実施回数
4名	28世帯	260回	21.6回

1.3 福祉用具貸与事業

(1) 指定福祉用具貸与事業の運営

要支援・要介護者へ自立した日常生活と介護負担の軽減を図るために福祉用具の貸与を行った。

- ① 配置職員数 4名（兼務）
- ② 年間延利用者数 365人 （前年比 77人減）
- ③ 1ヵ月あたり利用者数 30.4人 （前年比 6.4人減）
- ④ 年間貸与品目数 1,581品目 （前年比 311品目減）

内訳	品名	車椅子	特種寝台	エアマット	その他
	数量	201	1,099	61	220

- ⑤ 1ヵ月あたり貸与品数 131.8品目 （前年比 25.9品目減）

(2) 身体障害者福祉用具貸与事業の運営

介護保険非該当の高齢者並びに在宅障害者に対し、福祉用具の貸与を実施した。

車椅子	ポータブルトイレ	歩行補助具	その他の福祉用具
73件	13件	2件	3件

1.4 障害福祉サービス

日常生活を営むのに援助が必要な身体障害者及び知的障害者・児童、精神障害者へホームヘルプサービス事業を実施した。

(1) 居宅介護事業

- ① 実利用人員 20人
- ② 年間延利用人数 230人 （1ヵ月あたり利用人員 19.1人）
- ③ 年間サービス 3,599時間 （1ヵ月あたり提供時間数 299.9時間）

提供時間数	内訳	身体介護	家事援助	通院介護	同行援護
		1,363時間	1,607時間	10時間	619時間

1.5 その他

その他、地域福祉推進のために関係機関・団体との連絡調整及び協力・支援を行った。

- (1) 伊東市遺族会が実施する戦没殉難者慰霊祭（実施日 平成25年5月27日（月） 会場 小室山公園）の式典運営への協力を行った。
- (2) 伊東市介護保険事業者連絡会の事務局として、運営への協力を行った。
- (3) 平成25年4月17日(水)、ホテルアンビエント伊豆高原にて開催の東日本震災復興支援(岩手県大船渡市の被災した小学校への楽器購入のための寄附)のためのコーラスグループ「コールやまゆり」「アンサンブルあざれあ」によるチャリティーコンサート開催の人的物的支援。

以上